

# CIO育成研修教材

基本機能版 活用コースモデル

独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)

## 目次

### I. コースガイド

1.	本研修教材の概要	2
2.	本研修教材の構成	2
3.	ケース研修の構成	3
4.	コースモデル	4
5.	カットできない演習課題	5

# I. コースガイド

## 1. 本研修教材の概要

中堅・中小企業においては、経営者が経営改革の方向性を示しても、それを具体的な施策として実行に移せる人材は少ない。社外の力を活用する場合においても、コンサルタントやITベンダを目的に照らして評価できる人材も少ない。

本研修教材は、中堅・中小企業において、経営者のビジョンや経営戦略を適確に捉え、経営戦略・IT化構想を正確に把握し、IT化実行計画として取りまとめ、システム開発等のIT化導入を進めると同時に、業務改革を推進できる人材の能力開発を養成するコースウェアの教材である。

本研修教材は、上記の目的を達成するために、以下の内容を盛り込む。

- ①. 経営者の意思(経営戦略)の把握と確認
- ②. 業務改革課題の発見と改革概要の立案
- ③. IT化企画の立案
- ④. IT化実行計画の策定
- ⑤. 付加価値創造型ビジネス・モデルの作成
- ⑥. プロセス・モデルの具現化
- ⑦. IT化プロジェクトの管理
- ⑧. 提案依頼書の作成
- ⑨. 成果の評価と改善
- ⑩. CIO機能

## 2. 本研修教材の構成

本研修教材は、効果的にCIO機能の修得ができるように、研修参加前に読み、CIOのイメージを想定する「事前学習編」、研修の中心である「ケース研修編」、研修終了後にケース研修で取り上げられなかった部分の理解と復習を兼ねた「事後学習編」の3部構成となっている。

### 第1部 研修事前教材(A4 約 50 ページ・読み物)

企業経営者が考えているCIO像  
CIOの役割と求められるスキル  
中堅・中小企業CIO紹介

### 第2部 ケース研修(PPT 260枚)

モデル企業のCIOとして演習に取り組む  
テーマはIT戦略企画

- ①. プロセスのブレイクダウン
- ②. RFPの記載事項
- ③. IT活用による付加価値の創造

### 第3部 研修事後教材(A4 約70ページ・読み物)

研修で取り上げなかったフェーズの学習と復習

### 3. ケース研修の構成

本研修教材の中心となるケース研修は、標準として 25～30 時間を想定し、研修受講者のレベルや受講可能時間を考慮し、必要に応じてアレンジできるように、全体を第1講座から第10講座までをそれぞれ 2.5～3時間の10のセッションに分割している。

なお、10 セッションの内容は、以下の通り。

	演習前講義	演習内容
第1講座	CIO に対する期待 CIO の基本的役割 求められるスキルの理解	①経営戦略全体の把握 ②IT成熟度分析
第2講座		①主要マネジメント要件の策定 ②アクション・プランの作成 ③IT戦略企画書
第3講座	プロジェクト・マネジメント概論	①プロジェクト体制とスケジュール ②リスク計画と管理 ③IT化目標定義書
第4講座	ビジネス・システム企画の理解	①ビジネス機能関連と業務フローの把握 ②現状ビジネス・リソースの整理 ③ビジネス・ルールと業務ルールの把握
第5講座	EAの基本的理解 ザックマンのフレームワーク	①ビジネス・システム企画の範囲 ②ビジネス連携図 ③制約条件となるビジネス・ルール
第6講座		①ビジネス指標のモニタリング項目 ②新ビジネス機能構成表 ③新ビジネス・プロセス関連図
第7講座		①新詳細業務フローの策定 ②新機能情報関連図 ③新業務ルールの定義
第8講座		①個別業務処理定義 ②画面と帳票のリストアップ ③データ項目定義
第9講座		①運用・操作要件 ②提案依頼書(RFP)作成 ③提案評価
第10講座	情報セキュリティ	①情報リテラシー向上策 ②効果測定 ③まとめ

#### 4. コースモデル

本研修教材のケース研修は、研修受講者のレベルや受講可能時間を考慮し、必要に応じて以下のようにアレンジできる。

①. 全履修パターン(2.5～3時間×10回)

昼間コース 13:30(14:00)～16:30(17:00)を10回  
週2回開催で5週間  
夜間コース 18:30(17:00)～21:30(22:00)を10回  
週2回開催で5週間

②. 全履修パターン(5～6時間×5回)

昼間コース 13:00(13:30)～18:00(18:30)を5回  
週1回開催で5週間  
週2回開催で2.5週間  
昼夜間コース 15:00(15:30)～21:30(22:00)を5回(軽食時間を含む)  
週1回開催で5週間  
週2回開催で2.5週間

③. 全履修パターン(7.5～9時間×3回+2.5～3時間×1回)

昼間コース 9:30(10:00)～18:00(18:30)を3回  
13:30(14:00)～16:30(17:00)を1回(最終回)  
週2回開催で2週間

④. 上流工程ショートカットパターン(7.5～9時間×3回)

第1講座と第2講座を1講座分にショートカットする。(9講座として実施)  
昼間コース 9:30(10:00)～18:00(18:30)を3回  
週2回開催で1.5週間

⑤. RFP作成ショートカットパターン(7.5～9時間×2回・5～6時間×3回)

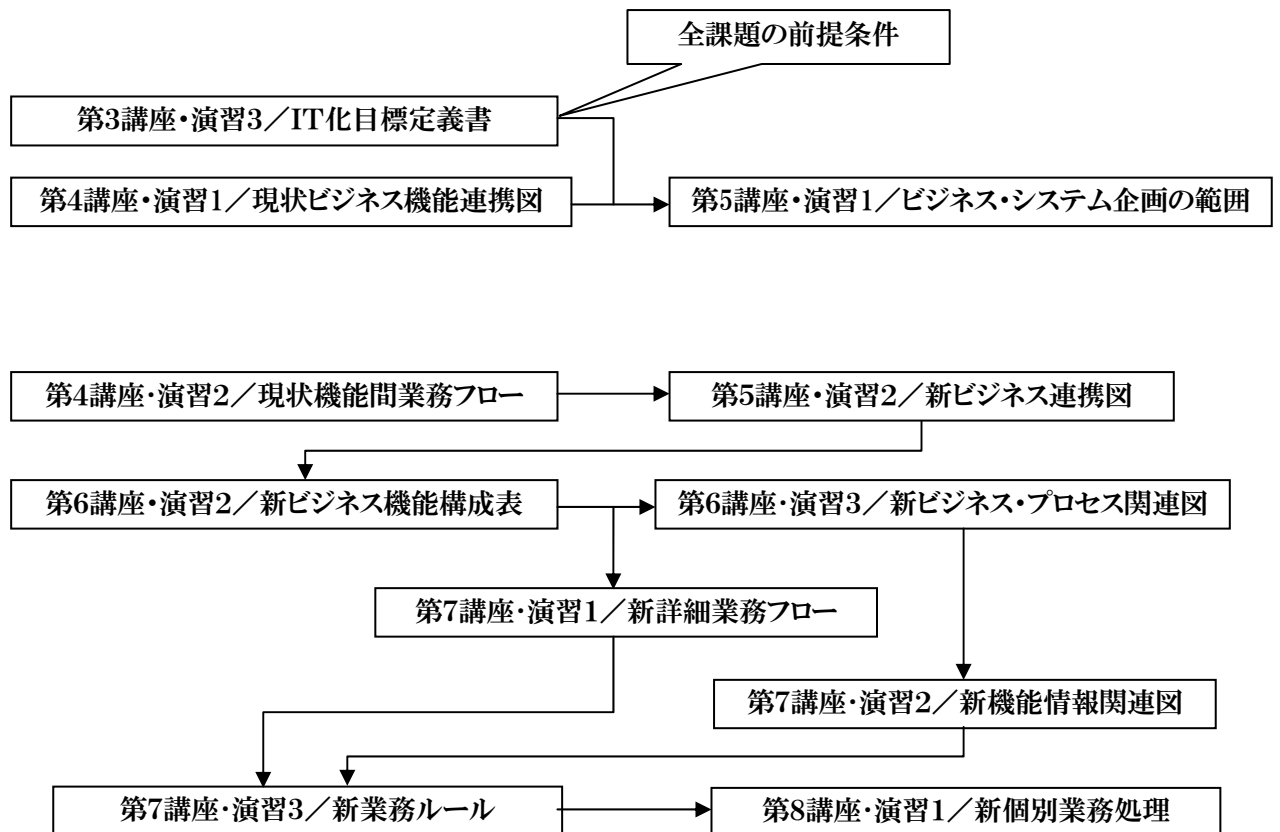
第1講座と第2講座、第10講座を全面的カットする。  
第3講座を、IT化目標定義書を除きカットする。  
必要に応じて演習を説明課題に切り替える。(6講座として実施)  
昼間コース 13:00(13:30)～18:00(18:30)を3回 または  
昼間コース 9:30(10:00)～18:00(18:30)を2回

⑥. 上流工程・PMショートカットパターン(5～6時間×4回)

第1講座と第2講座を1講座分にショートカットする。  
第3講座を、IT化目標定義書を除きカットする。  
必要に応じて演習を説明課題に切り替える。(8講座として実施)  
昼間コース 13:00(13:30)～18:00(18:30)を4回  
週2回開催で2週間

## 5. カットできない演習課題

本研修教材は、その演習の特質上、ある課題がそれ以降のインプットとなっている場合が多くある。そのため、演習を割愛することができない。以下にその関連を示す。



以下の課題の関係は、経営者研修受講者は、省略することができる。

